

# びほろの

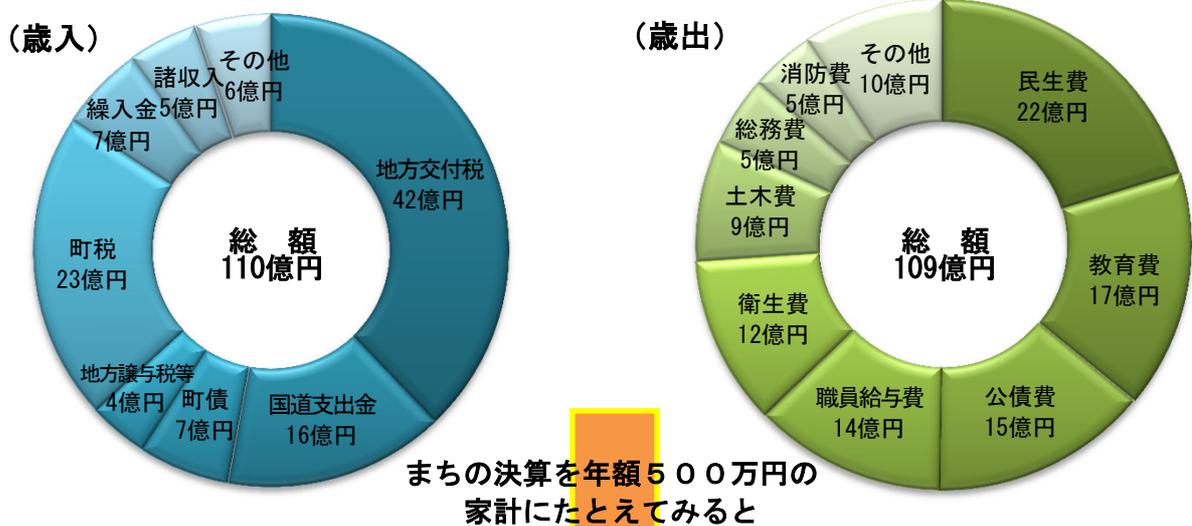
# 家計簿

～平成23年度美幌町の決算と財政状況～

まちでは、1年間に入ってくるお金（歳入）と、そのお金の使いみち（歳出）を計画しています。これを「予算」といいます。予算に対して、町民のみなさまからお預かりした税金などが、実際にどのようなことにどれだけ使われたかをまとめたものを「決算」といいます。

ここでは、平成23年度決算から見た、まちの家計簿（財政状況）についてお知らせします。

## 1 一般会計歳入歳出の決算



### びほろ家の1年間の家計簿

収 入		支 出	
給与（町税、地方交付税など）	386万円	食費など（人件費、扶助費）	109万円
貯金の取り崩し（繰入金）	32万円	ローン返済（公債費）	68万円
借金（町債）	32万円	家の改修や家具の購入など （普通建設事業費）	95万円
その他の収入（諸収入など）	50万円	子どもへの仕送り（繰出金）	46万円
		その他の生活費（物件費など）	177万円
<b>合 計</b>	<b>500万円</b>	<b>合 計</b>	<b>495万円</b>

福祉や道路整備、教育など、まちの基本的な行政サービスのための会計を「一般会計」といいます。平成23年度の一般会計の決算は黒字となりましたが、貯金を取り崩しています（繰入金）。歳入は、国や北海道から交付されたお金が多く、歳出は、福祉や教育、借金の返済に使ったお金が多くなっています。

## 2 おもな事業と決算額

内容	金額	内容	金額
「びほーる」の整備	8億4千万円	予防接種の充実	5千万円
第Ⅲ期埋立処分場の整備	4億3千万円	「峠の湯びほろ」の屋根改修	5千万円
子ども手当の支給	3億円	住宅リフォームの促進	3千万円
道路の新設・改良工事	2億円	商店街の活性化 (スマッピーブリペイドチャージなど)	1千万円
除雪対策	9千万円	てん菜作付の奨励	9百万円
美幌中学校の移転改修	6千万円	町民会館の耐震診断の実施	3百万円



町民会館第1ホール「びほーる」

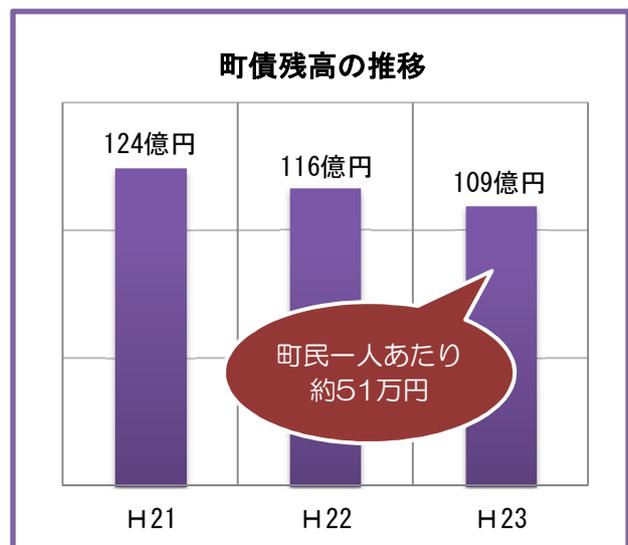
- ・総事業費 12億円 (H21~24)
- ・客席数 504席 (固定席499、親子席5)



第Ⅲ期埋立処分場 (登栄)

- ・総事業費 11億円 (H17~23)
- ・ごみ埋立計画期間 15年間 (H24~38)

## 3 基金(貯金)と町債(借金)の状況



基金とは、将来のためにまちが積み立てる貯金のことです。平成23年度末の一般会計の基金残高は26億円で、前年度に比べ3億円減少しました。これは「びほーる」の整備などのため、基金を取り崩したことによるものです。

町債とは、まちの借金のことです。平成23年度末の一般会計の町債残高は109億円で、前年度に比べ7億円減少し、平成16年度をピークに年々減少しています。

## 4 特別会計と企業会計の決算

特別会計とは、一般会計とは別に特定の目的のために必要な会計のことで、まちには国民健康保険など5つの特別会計があります。

企業会計とは、民間の会社のようにサービスを行い収益をあげて運営する会計のことで、まちには水道事業と病院事業の2つの企業会計があります。

特別会計名	歳入額	歳出額	実質収支	基金又は町債残高
国民健康保険特別会計	29億2千万円	28億1千万円	1億1千万円	基金 3億6千万円
町民のみなさまの健康保持と増進のため保険給付を行い、医療保障の充実に努めました。				
後期高齢者医療特別会計	2億5千万円	2億5千万円	20万円	
高齢者の方々の健康保持と増進のため被保険者の資格管理の窓口業務などを行いました。				
介護保険特別会計	13億4千万円	13億3千万円	1千万円	基金 9千万円
要介護・要支援者が自立した日常生活を送ることができるよう保険給付を行うとともに、介護予防などを推進しました。				
公共下水道特別会計	9億7千万円	9億6千万円	1千万円	町債 61億2千万円
汚水ますの設置など公共下水道の整備や、まちの下水終末処理場の維持管理などを行いました。				
個別排水処理特別会計	9千万円	9千万円	50万円	町債 4億8千万円
農村地区の水洗化のための合併処理浄化槽の新設や維持管理などを行いました。				

企業会計名	収入額	支出額	収支	企業債残高
水道事業会計	収 4億4千万円	3億7千万円	7千万円	18億1千万円
	資 1億6千万円	3億6千万円	△2億円	
配水管の新設・改良工事、浄水場やポンプ場の維持管理、水道未普及地域（豊幌）の水道施設の整備を行いました。				
病院事業会計	収 16億2千万円	17億5千万円	△1億3千万円	23億7千万円
	資 2億4千万円	2億7千万円	△3千万円	
町民のみなさまへの安定的な医療の提供と医療内容の充実のため、医師の充実や最新鋭の医療機器への更新などを行いました。				

※企業会計の収支 上段：収益的収支 下段：資本的収支

## 5 健全化判断比率

まちの財政状況を示す指標として「健全化判断比率」があります。

この比率が一定の基準をこえた場合、財政再建に取り組まなければなりません。美幌町の数値はその基準を下回っています。

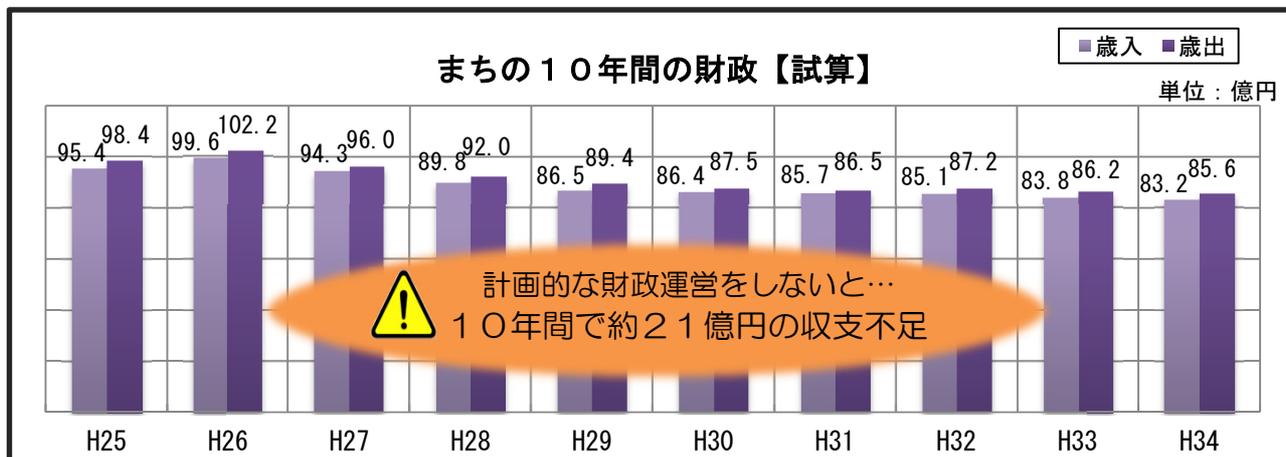
財政再建が必要かどうかの基準！

健全化判断比率 (4つの指標)	内容	美幌町	早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	一般会計の赤字の割合	—	14.11%	20.00%
連結実質赤字比率	全ての会計の赤字の割合	—	19.11%	30.00%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	13.9%	25.0%	35.0%
将来負担比率	将来負担が見込まれる借金の割合	34.7%	350.0%	

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、収支が黒字のため数値なし

## 6 今後のまちの財政運営

まちの試算によると、平成25年度から平成34年度までの財政は、人口減少による町税の減少や消費税の増税の影響、高齢化社会に対応するための社会保障費の増加などが予想され、こうした中で計画的な財政運営を行わなかった場合、まちの財政は厳しい状況となることが見込まれます。



収支不足を生じさせないために！

### ①歳入の確保

町税の収納向上や使用料・手数料の定期的な見直しなどによる安定的な歳入の確保に努めます。

### ②歳出の削減

効果や緊急性をふまえた事業の選択、事務事業の見直しなどを進め、歳出の削減に努めます。

### ③基金の有効活用

基金の目的に沿った計画的な積み立てと取り崩しを行い、有効活用に努めます。

### ④町債の抑制

将来への負担を先送りしないよう、事業を厳選した上で、町債の新規発行の抑制に努めます。

まちの「財政運営計画」を  
たてて、健全な財政運営に  
全力で取り組みます！！

＜具体的な目標値＞

項目	H24見込	H29目標	H34目標
一般会計歳出額	97.7億円	86.7億円	83.4億円
実質公債費比率	12.0%	10.3%	10.9%

項目	H24見込	H29目標	H34目標
基金残高	27.0億円	20.2億円	20.2億円
町債残高	102.9億円	83.9億円	67.9億円

「びほろの家計簿」～平成23年度美幌町の決算と財政状況～

(発行日) 平成24年12月

(発行者) 美幌町

(お問い合わせ) 美幌町役場 総務部政策財務グループ

TEL: 0152-73-1111 FAX: 0152-72-4869 メール: zaisei@town.bihoro.hokkaido.jp